30年度新規事業の主な内容

事業名	内容【予算額(千円未満を四捨五入)】
一般事務的経費 (職員旅費)	みずほ情報総研㈱と共同で、栽培可能性調査を 行ってきたルワンダ共和国のリンドウ初出を 式への出席に係る旅費【89万円】
公有財産管理事業 (工事請負費)	旧松尾総合支所解体工事【3億3,790万円】
庁舎管理費 (工事請負費)	安代総合支所駐車場舗装補修工事【1,935万円】
総合収納システム 導入業務	市税などの納入先の多様化(ゆうちょ銀行)への対応および収納事務の合理化を図る【1,93万円】
防犯灯台帳作成業 務	市管理の防犯灯(約1,000灯)の現地調査を行い、位置のGISデータを作成【582万円】
出生記念品	市の宝である子どもの出生を祝い、安比塗の「こども用スプーン」を贈る【45万円】
結婚新生活支援事 業費補助金	結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚性帯に対し、新生活にかかる引っ越しや家賃などの費用(最大30万円まで)を支援【720万円】
地域敬老会開催モ デル事業費補助金	地域団体が自主開催する敬老事業に対し補助 【7万円】
保育対策総合支援 事業費補助金(※ 拡充)	保育士の採用を促進するため、宿舎の借り上におよび奨学金の返還について支援を行う(※対前年度比228万円の増額)【552万円】
統合保育所設計業 務	松野保育所と寄木保育所を統合し、移転新築するための、設計・地質調査業務を実施[5,199万円]
ブランド牛地域一 貫生産緊急導入奨 励事業費補助金 (※拡充)	八幡平牛の生産に支障をきたさないよう、肥育素牛導入事業の補助単価を増額(※対前年度比80万円の増額)【455万円】
繁殖・育成センタ 一整備事業	酪農・肉牛の生産基盤を強化するため、繁殖 育成センターを整備【34万円】
大更駅前顔づくり 施設等建設概略設 計業務	大更駅前顔づくり施設などの概略設計を実施 【324万円】
観光振興対策事業	株式会社八幡平DMOへ八幡平市版DMOの 運営委託。観光客動向動態・消費実態等調査は よび商品造成戦略立案業務の実施。二次・三次 交通実態調査・実証試験、自然散策バス多言語 案内化およびシェアサイクルモデル事業実記 業務の実施【1億1,580万円】
中渡工場適地整備 事業	用地取得および整備を実施(平成30~31年度の2カ年事業)【4,675万円】
クラウドファンディング活用支援補 助金	クラウドファンディングを活用して新たな事業を行う者に対し、ファンドの組成に要する手数料の2分の1(上限500千円)を補助【150万円】
市道等整備事業	大更駅西口駅前広場整備、山子沢線・大更中央線・大更駅東線・植立水沢線外1・松森山後谷地線・鴨志田線外・森合線外・十二林線外中村線の整備、畑スマートインターチェンジ 備可能性調査業務【3億9,500万円】
岩手県立平舘高等 学校教育振興会補 助金(※拡充)	進路指導事業(夏季休業中に国公立大学進学者 望者に対し、予備校講師による特別課外授業を 実施)に対する支援(※対前年度比27万円の均額)【427万円】
コミュニティ・スクール導入等促進事業	「地域とともにある学校づくり」を推進するコミュニティ・スクールを市内全小・中学校へ導入するにあたりモデル校(2校)を選定し、推進体制を構築【98万円】
スポーツ大会出場 選手報償金	オリンピック競技大会またはパラリンピック競技大会に選手として参加した個人に対し、幸 奨金を交付【150万円】

平成30年度と29年度の市当初予算

(会計別総額、1万円未満四捨五入)

	_		(2017)34667(: 73137(4)210227()		
会 計 別			30年度当初予算	29年度当初予算	
一般会計			220億3,300万円	196億2,500万円	
特	国民健康保険 (事業勘定)		30億8,276万円	39億7,222万円	
	後期高齢者医療		2億6,882万円	2億5,681万円	
733		民健康保険 療施設勘定)	2億4,000万円	2億8,764万円	
計	公共下水道事業		9億5,613万円	5億8,626万円	
	農業集落排水事業		6億4,473万円	6億4,389万円	
	浄化槽事業		8,004万円	7,998万円	
		収益的収入	6億1,260万円	6億2,487万円	
	水道	収益的支出	6億 459万円	6億1,709万円	
企	事	資本的収入	2億5,784万円	2億7,247万円	
業		資本的支出	4億5,744万円	4億8,655万円	
計	西	収益的収入	8億6,810万円	8億5,573万円	
	根病院事	収益的支出	9億 286万円	8億7,647万円	
		資本的収入	8億7,628万円	1億2,998万円	
	業	資本的支出	10億3,772万円	1億4,080万円	

歳入のおおまかな内容

- ▶市税=市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、 入湯税
- ▶繰入金=積立金の取り崩しや、ある会計から別な会計に 繰り入れるお金
- ▶地方交付税=所得税など国税から財政状況に応じて交 付されるお金
- ▶市債=建設事業などを行うために市が借りるお金
- ▶国庫(県)支出金=特定の行政目的を達成するため、その 経費に充てることを条件に国(県)から交付されるお金

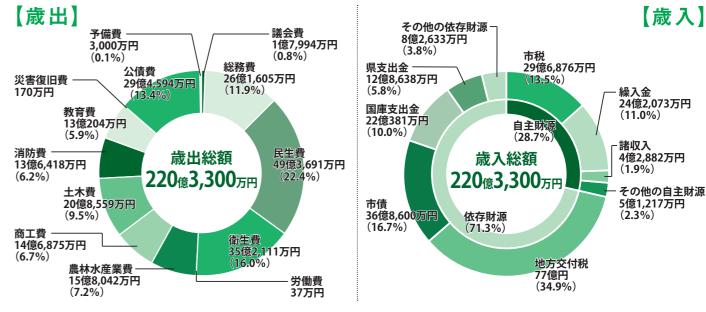
歳出のおおまかな内容

- ▶議会費=市議会の運営のために使うお金
- ▶総務費=行政全般の事務に関する経費、財産管理などに
- ▶民生費=障がいのある人や高齢者の支援、子育て支援や 生活保護などに使うお金
- ▶衛生費=予防接種、健康診断、ごみ処理などに使うお金
- ▶労働費=雇用確保のための作業員賃金や委託費用など
- ▶農林水産費=農業や林業振興などに使うお金
- ▶商工費=商工業の振興や観光イベントなどに使うお金
- ▶土木費=道路補修や除雪、市営住宅管理などに使うお金
- ▶消防費=消防署の経費の負担や消防団員の報酬、防災行 政無線の整備などに使うお金
- ▶教育費=小・中学生などの教育のために使うお金
- ▶災害復旧費=公共土木施設(河川や道路など)が被災し た場合、従前の機能を回復するために使うお金
- ▶公債費=市債(借入金)を返済するために支払うお金

平成30年度の 一般会計予算は **220**億**3,300**万円

平成30年度の予算が、市議会第1回定例会最終日の3月20日に可決されました。一般会計の予算総額は、29年度予算 と比較し、24億800万円(12.3%)増の220億3,300万円です。今号では30年度一般会計予算の概要を紹介します。

◎問い合わせ先 市役所企画財政課財政係(☎・内線1205)



※予算額は1万円未満を、割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。また、 歳出の労働費と災害復旧費は、割合が0.1%未満となるため、割合の表記を省略しています。

歳

施設整備工事費の増などにより 億4945万円(1 設等に伴う出資金の増などにより、 施設の延命化工事費、 6 解体工事費の増などにより、 務代行業務委託料、 実施して 6万円(16・6%)増の26億1 総務費は、 衛生費は、 1 万 円。 ふるさと応援寄付金の事 る八幡平温泉郷引湯管の 商工費は、 清掃センタ 旧松尾総合支所 10・6%)増の35増などにより、18 18の35 0 昨年度か 3 億 7 2 の焼却 6 0 5

込んでいます。 ?あった科 歳出は、 増を期待して2億円(0 選 た科目について説明 前年度に比べて大きく増減 します

あ

育など、 年間の平均値をとります。準財政規模で割ったもので 会計や公営企業が行う企業会計(水道事 康保険などの ▼実質公債費比率=地方債の スを行うための会計。 プライマリ 一般会計= 入と公債費 (元金償還額分の 西根病院事業)があります 地方債発行を除く税収などの正味 さまざまな分野の事業やサ 道路や水路の整備、福祉や教=市税や地方交付税を主な財 特定事業を行うための特別の会計。そのほかに国民健 バランス=基礎的財政収 通常過去3 償還金を標 み)を除く

29億6876万円(13・5%)となって **%**)です。 ます。 が いる寄付金は、 217万円(2・ 市税で、市民税個人分の増を見込み 自主財源の中で最も多くを占めるの 、地方交付税の77億円(構成比34 また、 その他の自主財源5億 ふるさと応援寄付金 3%)の中に含まれ %)を見

要となる基準(18%)を下回っています。

将来負担が過大にならないよう計は、今後も財政指標を注視しなが

画的な財政運営に努めます。

なっており、 費比率は、

起債に県知事の許可が必

スが赤字となる見通しです。

実質公債 ・ 9 % と

28年度決算で10

13億20

4万円となっています

なお、

市債は、プライマリ

-バラン

より、1億3586万円(9・

4%)減の

田山スキ

場用地の取得費の減などに

などにより、

3億9306万円(15

%)減の20億8559万円。教育費は、

施しますが、町裏住宅の建設工事費の減

歳入 ・歳出の概要は次のとおりです。

歳

入

般会計の歳入で最も多くを占め

予算額を次ページの上段に示します。の内訳を上段の円グラフに、会計別8平成30年度の一般会計の歳入・歳 別の

75万円となって 前線の整備などを昨年度に引き続き実 172万円(73・ います。 4%)増の14億6 計画道路大更駅